令和5年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」大館中学校区実践計画書

事務局 八戸市立新井田小学校（担当：教頭 豊巻 裕史）

1 主題（2年次）

『主体的な学習習慣の形成とよりよい人間関係の育成をめざす小・中連携』

2 主題設定の理由

小学校から中学校までの9年間は、児童・生徒が自立した人生を歩んでいくための力を身に付けるべき、人生の土台づくりの時期である。また、主体的な学習習慣の形成とよりよい人間関係の育成は、児童・生徒が学校教育活動において、お互いの出会いを大切にし、自ら学び、生きる力を身に付けていくための根幹を成す。

そこで、小学校から中学校までの児童・生徒の成長を継続して見取り、指導していくことの重要性を改めて全教職員で確認するとともに、小・中学校間は勿論、各学年間でのきめ細かい引き継ぎや情報交換を行う必要がある。さらに、児童生徒の成長に応じた学習習慣を形成するための指導、思いやりや協調の気持ちを涵養し、自己肯定感を高めながら適切なコミュニケーションのとれる児童生徒を育成するための指導を一貫して取り組む必要があると考え、この主題を設定した。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織

委員会	主 な 内 容		委 員
推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・研究の方向性・体制づくり ・主題、研究内容、組織の検討 ・計画、実践、評価等のまとめ 		委員長：中学校長 副委員長：小学校長 委員：教頭 教務主任 研修主任
授業づくり委員会	一人一台端末の効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末の活用についての情報交換 ・学校や家庭での効果的な活用について ・効果的な活用のためのルールについて 	リーダー・副リーダー・教頭を除く全教員は、いずれかに所属
	学習習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣（授業・家庭）の実態把握 ・生活習慣の確立にむけての方策検討 	
居場所づくり委員会	不登校の児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の不登校の実態についての情報 ・各校の支援内容の共通理解 	
絆づくり委員会	中一ギャップ解消	<ul style="list-style-type: none"> ・中一生徒指導情報交換 ・中一ギャップ解消に向けて 	

4 重点指導項目等

○授業づくり・・・○一人一台端末の授業での活用推進と規範意識の育成 ○学年に応じた学習習慣の定着 ○居場所づくり・・・○不登校児童・生徒の保護者との連携 ○絆づくり・・・○円滑な接続のためのアンケートの実施と活用